

第2部 鉄道交通

第1章 鉄道交通事故の動向

1 近年の運転事故の状況

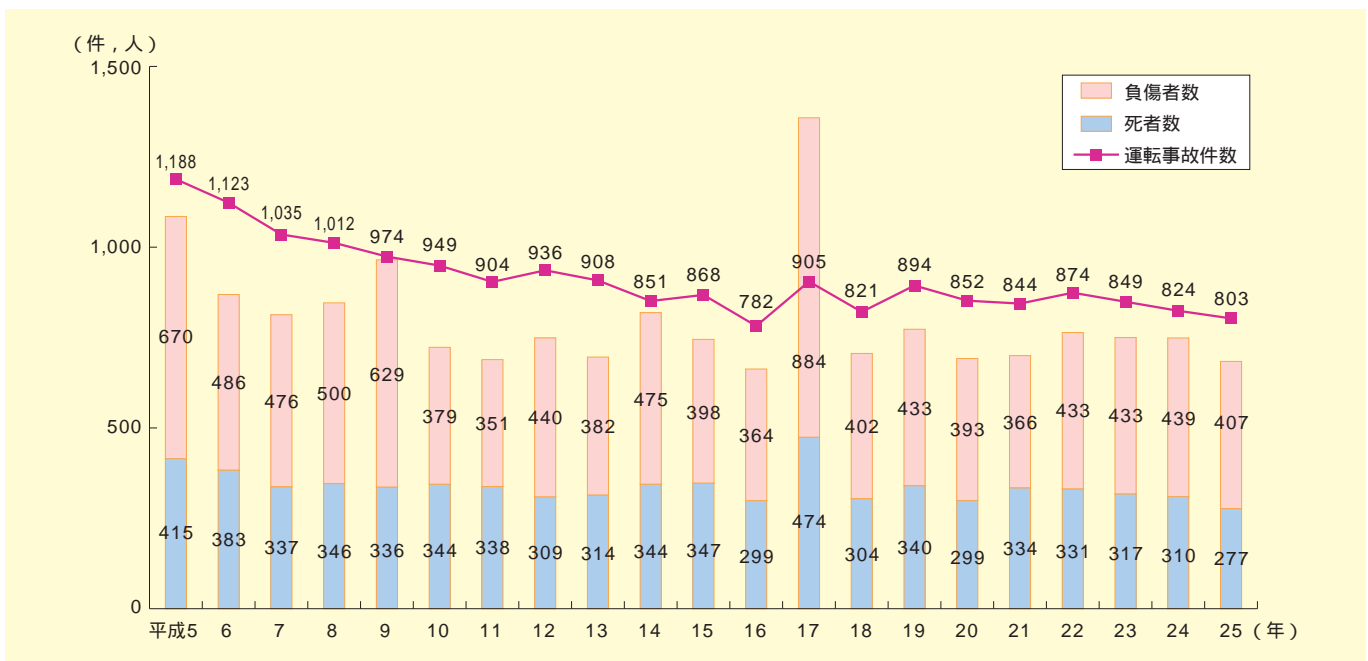
鉄道交通における運転事故は、長期的には減少傾向にあり、平成5年に1,188件であったものが、15年には868件、25年には803件で、25年は前年比2.5%減であった。

運転事故による死者数は277人で、第9次交通安全基本計画の目標どおり減少し（10.6%減）、乗客の死者数はゼロであった。

踏切事故は踏切保安設備の整備等により、長期的には減少傾向にある。平成25年は295件で前年比3.3%減であり、踏切事故による死者数は94人で前年比26.6%減であった。

平成25年中の重大事故（死傷者が10名以上又は脱線両数が10両以上生じた事故）は、平成25年2月12日に山陽電気鉄道の本線荒井駅構内において、列車脱線事故が発生し18人が負傷するなど、3件発生した。

運転事故の件数と死傷者数の推移



注 1 国土交通省資料による。
2 死者数は24時間死者。

運転事故

列車衝突事故，列車脱線事故，列車火災事故，踏切障害事故，道路障害事故，鉄道人身障害事故及び鉄道物損事故をいう。なお，軌道の運転事故は，鉄道運転事故と同様に定義する。